

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

中3

教科/科目

美術

時間数

2時間/週

1学期

単元名

イメージを追い求めて

使用教材

単元の概要

自分なりの形で表す。

日本文教出版

評価規準

単元内容

究

A3

B3

C3

完成された作品を再度見
つめ直し、その表現方法
などを再確認することで、さ
らにこだわりを持って取り
組むことができる。

完成されたそれぞれの
作品を鑑賞し、共有す
ることで、新しい視野を
得ることができる。

・半立体のイメージを大切にし、レ
リーフでの魅力をどのように表現す
るかをしっかり考える。
・凹凸の特性を生かして、形や色マ
チエールなどを効果的に表す為の
構想を練る。

【PBL活動】
・観察から、引き出される魅力的な
形とは何かを考える。

活

A2

B2

C2

石膏をどのように表
現するか、アイデア
でしっかりまとめるこ
とができる。

石膏の性質、大きさ、形
から立体をイメージし、造
形的な良さや、美しさなど
を独自の表現方法を考え
て工夫することができる。

石膏の魅力を追求し、
材料や用具の特性を理
解し、目的や意図に応
じて、質感などの細かな
表現を創造的に制作す
ることができる。

礎

A1

B1

C1

教科書や資料集の中
から、石膏のイメージ
を膨ませることがで
きる。

石膏を立体的にとらえ、
表現方法のプロセスなど
を考えながら、展開図を
もとに、しっかりと構想を
練ることができる。

石膏を実際に手に取り
ながら、どのような形が
適切なのか、感触を確
かめながら制作に取り
組むことができる。

〈留意点・評価〉

評価のポイントとして、石材を見つめ、石膏作品としてどのよう
に表現したいのか。想像力を広げ、イメージを豊かに持って構想
することができているか。材料や道具の特性を生かして、石膏の
魅力を引き出すように追求しているか。完成された作品で評価
する。

知性・知識

応用・発展

創造的思考

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中3	教科／科目	美術	時間数	2時間／週
2学期					
単元名	つくって使って味わう工芸				使用教材
単元の概要	材料の特性を生かしてつくろう。				日本文教出版
評価規準				単元内容	
究	A3	B3	C3 完成されたそれぞれの作品を鑑賞し、共有することで、新しい視野を得ることができる。	①革に適したデザインについて考える。 ②道具の使い方を研究し工夫する。 ③色合いについて考え、彩色する。 ④仕上げを工夫する。	PBL活動 生活の中での手作りの作品の良さについて考え、発表し合う。毎日の暮らしについて考える。
	活	A2	B2 技法に適した道具の使い方を研究し革細工に発揮することができる。		
礎	A1 身の回りにあるものの良さや美しさに関心をもつことができる。	B1 材料や道具、伝統的な技法などの特性を生かして表現することができる。	C1 使う場面を思い描いたり、材料の特性を考えたりしながら発想を練ることができる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中3	教科／科目	美術	時間数	2時間／週
3学期					
単元名	絵本をつくる				使用教材
単元の概要	主題を明確にし、絵本の構想を練ろう。				日本文教出版
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3 ページを開く時の驚きや楽しさを大切に仕上げることができる。	①物語の起承転結など、全体のおおまかな流れを考えて絵コンテを描く。②主人公や登場人物のキャラクターをデザインする。③見開きごとに構成を考える。④文章を入れる場所、配色を考える。⑤原画を制作する。	PBL活動 作品の鑑賞により感じたことわお互いに発表し合う。
	A2	B2 絵本に適した表現方法を追求し、技法を身につけることができる。	C2 主題を明確にして絵本の構想を練ることができる。		
活	A1 いろいろな種類の絵本があることを知る。	B1 自分が体験したことや夢で見たこと、想像したことなどをもとに物語をつくることことができる。	C1 場面ごとに分けて構成を考えることができる。	〈留意点・評価〉	
				3～4人のグループによる活動を適宜入れていく。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		